

第 8 回 産学交流企画活動内容報告(2014 年)

日時 2014 年 11 月 22 日(土) 10 時～17 時

場所 島根県民会館 第 3 多目的ホール ～ 大根島(フィールドワーク)

○概要

本年度も青年部会の活動として、島根大学・松江工業高等専門学校との産学交流を企画・実施しました。本交流企画では、技術士と学生が協力してテーマに沿った課題解決をすることで、課題解決に必要な以下のような能力を学生に身につけさせることを目的としています。

- ・日本語による理論的な記述力、口頭発表力、討議などのコミュニケーション能力
→班での討論、意見集約手法の実践(ブレインストーミング)、プレゼン
- ・種々の科学・技術・情報を利用して社会のニーズを解決するデザイン能力
→制約条件下での課題解決
- ・与えられた条件下で計画的に仕事を進め、まとめる管理能力
→班でのとりまとめ、限られた時間での成果達成

○参加人数

参加者全員(事務局 3 名を除く)が 7 班に分かれ、技術士をリーダーとして班編制をしました。本年は特に島大からの参加者が多く、各班大変活発な討論が行われました。

島根県技術士会 13 名

日本技術士会中国本部 4 名

島根大学学生 13 名

松江高専生 6 名

島根大学先生 1 名

合計 37 名

○本年度の課題解決テーマ

「外国人に大根島に来てもらうには、どんな製品を開発し、PRすれば良いか？」

上記課題を解決するために、各班毎にフィールドワークを経て討論を行い、プレゼン資料を作成したのち全員の前で発表しました。

○当日の様子



受付では名札を配りました



島大からお貸し戴いた超短焦点のプロジェクタ



島大小俣先生と林会長による談話



会場全体。各班毎に分かれています



司会進行は和泉技術士が務めました



林会長挨拶



島大 小俣先生挨拶



福井技術士によるアイスブレイク



ゲームを通じてチームワーク力が試されました



ここで課題発表。技術士にも事前発表無しでした



ブレインストーミングの方法を説明



プレゼンで使用する iPad の使用方法説明



実は学生の皆さんには説明不要？！



討論開始！正統派の1班



2班。最初に模造紙に書いたのはチーム名…?!



サブカルネタで盛り上がる3班



難易度が高いテーマに悩む4班



ブレインストーミングが進む5班



PREP 法でプレゼン組み立て中・・・6 班



進行が異様に早かった 7 班



大根島でフィールドワーク。溶岩隧道は入れず



当日は天気に恵まれました



由志園でフィールドワーク中の数班と遭遇



牡丹は時季外れでしたが紅葉が綺麗でした



島石（玄武岩）を活用できないか・・・？



島のあちこちにあるお堂も利用可能か？



会場の外でプレゼンの練習をする班も



いよいよプレゼン発表が始まりました



各班趣向を凝らしています



審査を経て各賞の発表



総合力で聴講賞は3班！賞品は早い者勝ちです



小俣賞は2班。長寿の国日本を狙いました



技術士会賞はアピール能力抜群の1班でした



交流会の終わりに絶賛のお言葉を戴きました



井上青年部会長による終わりの挨拶



みなさんお疲れさまでした！